

2021年度 須磨学園夙川中学校入学試験

国 語

第 3 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

学校法人 須磨学園 夙川中学校

【一】 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

ワープロと固定電話を使っていた人にとって、携帯電話やパソコンは「へえー」でした。【I】江戸時代の人にスマートフオンを渡した場合、「あつー！」と思うでしょうか？ おそらく「あつー！」ではなく「え？」という反応であり、結局のところ欲しがりはしないのではないのでしょうか。

「どこがいいの？ 何でもできるつたつて、この中から小判が出てくるわけじゃねえんだよな？ じゃあいらねえよ」と言われそうです。

仮に僕が「この電話で、いつでもどこでも遠くの人と話せるよ。使い方はまず……」と説明を始めたなら、江戸時代の人には、「いや、狼煙があるからいらねえよ。だいたい、いつも持ち歩いてなきやいけねえなんて、いやだ」と拒絶されるかもしれません。

あつと驚く心の裏には、恐怖も潜んでいます。

【II】「明日、火星に連れて行ってあげるよ」と言われたとき、「行きたい！ 行きます！」と即答する人が何人いるでしょうか？

これが数カ月後であれば、「行きたい」と答える人はたくさんいると思いますが、明日となると話は別です。スケジュールが空いていても、一瞬ためらいを感じる人は多いのではないのでしょうか。

ほんとうに安全なのか、もうちよつと確認したい。食事は宇宙食だろうけれど、どんなものなのか？ トイレは？ アメニティは？ ケネディ宇宙センターから出発なら、英語が流暢じゃないとまずいのか？

新しいものを疑う気持ち、どんな感じかをシゼンに確かめてから行動したいという気持ちは、原始時代、危険と隣り合わせに生きていた人間の本能に根ざしていると僕は思います。また、確かめたい本能がなければ、「食ベログ」や「トリップアドバイザー」といった口コミサイトがこれほど人気を集めるわけもありません。

新しいものに接した時、過去のものや過去の知識に照らし合わせて考えるのが自然だということです。

僕たちはまた、未来と過去が引つ張り合いをしている世界に存在しています。人が未来に引つ張られる進化だけの生き物であれば、骨董好きな人などいないし、一定のサイクルで、古いファッションがリバイバルでリュウコウすることもないでしょう。古いものに慈しみをもち、古いものに対して「美しい」と思う感情が、未来へ、新しいものへと進もうとする力に拮抗して、バランスを取っているのだと僕はとらえています。

このバランスを加味した上で企画を考えないと、あまりにも企画になってしまいます。

【III】で【IV】な、誰もついてこられない独りよがりの企画になってしまいます。

エンジンと電気モーターの力によりガソリン代の軽減とエコをシツゲンしたハイブリッドカー。既存の照明器具で使えるのに寿命ははるかに長いLED電球。メール、チャット、SNS、

電話などが一体化した機能を備えながら、はるかに手軽なLINE……。

みんなが「へえー」と思うものは、ある程度知っているものの延長線上にありながら、画期的に異なっているもの。「ありそうでなかったもの」です。

従来の考え方を遠ざけ、独創性ばかりにこだわりすぎると、文字通り「独りよがりのクリエイティブ」になってしまいます。ものをつくる人間は、新しさを追い求めながら、過去へのリスペクトも忘れないことが大切なのではないのでしょうか。

(水野学『センスは知識からはじまる』による)

注1 狼煙：むかし、事件などを知らせる合図として、火をたいて高く上げたけむり。

注2 アメニティ：ホテル側で用意された備品。

注3 流暢：すらすらと出てよどみがないようす。

注4 慈しみ：大事にしかわいがること。

注5 拮抗：ほぼ同等の力で、お互いに対立すること。

注6 ハイブリッドカー：エンジンとモーターのように、二つ以上の動力源を持つ車。

注7 画期的：今までになかった、めざましいことをする様子。

注8 獨創性：自分だけの考えで物事を作り出す能力。

注9 クリエイティブ：創造的であること。創造性。

注10 リスペクト：敬意を表すこと。

一の設問

問一 ～～～線部 a c のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 【Ⅰ】【Ⅱ】に入る語として最も適当なものを、後からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- 【Ⅰ】
 - 1 しかし
 - 2 つまり
 - 3 むしろ
 - 4 あるいは
- 【Ⅱ】
 - 1 だから
 - 2 そして
 - 3 ならばに
 - 4 たとえば

問三 「あっ！」(——線部ア)、「え？」(——線部イ)とありますが、ふたつの反応の違いに現れた気持ちの説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 アは未知のものに対する恐怖を伴った驚きと共に、強い拒否感を持っている。イは意味がわからないものの非常に興味深く、関心を示している。
- 2 アはすでに知っていたことを改めて示されて驚いている。イは代わりの物があるのに、今さら何をいつているのだろうとあきれている。
- 3 アは驚きと共に、便利だからぜひ欲しいと思っている。イはそもそも電話自体が分からず、必要がないと感じている。
- 4 アは使いたい気持ちは強いが、後に面倒なことが起きそうという不安を伴わせている。イは欲しい気持ちはあるが、使い方が複雑そうなのでとまどっている。

問四 「あっと驚く心の裏には、恐怖も潜んでいます」(——線部ウ)とありますが、他にどのような気持ち(心)が潜んでいるということでしょうか。気持ちを表す単語をひらがな五字ちようどで答えなさい。

問五 「行きたい！ 行きます！」と即答する人が何人いるでしょう？(——線部エ)という表現は、筆者のどのような考えを表したものですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 疑問を投げかけるように見せて、実は強い否定を打ち出している。
- 2 自問自答して、二つの答えで迷う自分の気持ちを整理しようとしている。
- 3 聞く人に同意を求めながら、実は自分の考えを打ち消してもらおうとしている。
- 4 質問の答えがわからないので、正しい答えを求めようとしている。

問六 「このバランス」(——線部オ)とはどうするための、どのような状態のことですか。三十五字以内で答えなさい。

問七 【Ⅲ】【Ⅳ】に入る組み合わせで最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Ⅲ 先進的
- 2 Ⅲ 進歩的
- 3 Ⅲ 感情的
- 4 Ⅲ 積極的
- Ⅳ 攻撃的
- Ⅳ 平和的
- Ⅳ 消極的
- Ⅳ 受動的

問八 「ありそうでなかったもの」(——線部カ)とは、どのようなものを指していますか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 ハイブリッドカーのような、ほとんど世間に知られておらず、非常に珍しく価値があるもの。
- 2 LED電球のような、以前より知られた形ではあるが、機能的にさらに進化したもの。
- 3 LINEのように、誰もがいつでも手軽に使うことができる便利なもの。
- 4 メールのように、使えないと社会で通用しない、現代では当たり前のように広がったもの。

問九 「新しさを追い求めながら、過去へのリスペクトも忘れないう」(——線部キ)という意味にあたる四字熟語を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 日進月歩
- 2 一望千里
- 3 温故知新
- 4 新陳代謝

【一】 四十年近く続けていた小学校の先生を退職して十年の「わたし」は、妻と二人で田舎の家に暮らしている。本文は、かつての教え子たちとの思い出を「わたし」が妻に語って聞かせている場面である。これを読んで、後の設問に答えなさい。

夏になると、おぼけ以外にも、カブトムシやクワガタムシの番組もふえます。

先日見た番組には、カブトムシ捕りの名人と呼ばれる大人が出てきました。

「わたしたちのころは、名人といえば高学年の子もだったな」カブトムシを持った長い髪と髭の大人が、テレビで微笑んでいます。

「昔は、大人——いや、中学生になってもカブトムシを捕るのが好きというのは、恥ずかしいことだったかな」

【一】 画面の中では子どもたちが、カブトムシ捕りの名人に引き連れられ、クヌギ林に入っていました。

そういえば子どものころ、わたしも、友達とクヌギ林に出かけたものです。カブトムシがたくさんいる場所を見つけると、『宝の地図』を作り、秘密にしたことを思い出しました。

大人から見たら他愛ない秘密でも、子どもにとっては、**【イ】** 国家機密にも匹敵するトップシークレットでした。

「今は、子どもたちだけで虫捕りに行ったりしないのかな？」テレビを見ながら、妻にききました。

「そうですね。昔は、年上の子が年下の子に捕り方を教えたりしていたんですけど……」

わたしの横に座った妻が答えます。
テレビ画面の中では、名人が手にしたカブトムシを、子どもたちが目を輝かせて見えています。

「できるなら、カブトムシを捕まえたり秘密基地を作ったりするようなことは、子どもたちの世界に残してやってほしいな」

わたしのつぶやきに、妻は何もいみません。
彼女は、わたしの考えが**【A】** 論で、**【B】** ではどうしようもないことを知っているからです。

【ウ】 子どもだけの世界が、成り立たなくなってきました。

大人の過干渉、遊び場所の減少、家庭内ゲーム機の普及——。原因はいろいろありますが、子どもの数が少なくなってきたことも、大きいようです。

「うちにも子どもがいたら、わたしが虫捕りを教えたりしていたかな」

【二】 「……さあ、どうでしょうね」
あいまに答える妻。

その声に寂しさを感じたわたしは、話題を変えることにしました。

「理科の学習で、昆虫のことを勉強するんだけどな。そのときに、困った子がいたんだ」

「困った子？」
わたしはうなずき、続けます。

「虫が苦手で、見るのもさわるのもいやだっというんだ」
「女の子ですか？」

「ああ。もともと女の子は虫嫌いの子が多いんだけど、その子は特別だった。いつもひらひらのスカートをはいてね。フランス人形みたいな女の子だったよ。とにかく、虫全般がだめなんだ」
「それで、どうしたんですか？」
「どうしたと思う？」

【エ】 きき返すと、妻はしばらく考えて答えました。
「模型を作ったんじゃないですか？ あなた、よく遅くまで教材を作っていましたから——」

【三】 わたしは、ボール紙と紙粘土で巨大なカブトムシを作りました。本物はさわれなくても、作り物なら大丈夫だろうと考えたのです。「怖くないように、かわいいカブトムシを作ったんですね？」わたしは、首を横に振ります。

「それだと勉強にならない。その單元では、昆虫の体は、頭・胸・腹の三つに分かれているとか、胸に六本の足がついているということを教えないといけないんだ。だから、できるだけリアルに作った。それはもう、模型雑誌に送ったら金賞を取れるくらいのレベルのできればえだったな」
【オ】 わたしは胸を張っていました。

妻が、ため息をつきます。
「そのあとのことはききません。おっしゃらなくてもけっこうですからね」

【四】 「……聞かれなくて幸いです。」

あまりにリアルに作りすぎたため、その子は、ますますカブトムシを怖がりました。

無理ありません。小さなカブトムシでも怖い子が、超巨大リアルカブトムシ模型を、さわれるはずがありません。

【カ】 結局、模型はやめて、ぬいぐるみを作りました。
(はやみねかおる『ぼくらの先生！』による)

注 過干渉 …… 必要以上に立ち入って口を出すこと。

二の設問

問一 **A**・**B** に当てはまる語の組み合わせとして、

最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

1	A	文化	B	文明
2	A	確率	B	偶然 <small>ぐうぜん</small>
3	A	一般 <small>いっぱん</small>	B	個別
4	A	理想	B	現実

問二 文章中の【1】と【4】のいずれかには、次の文が入ります。入る場所として、最も適当な場所を、番号で答えなさい。

正解です。

問三 「カブトムシ捕りの名人と呼ばれる大人がでてきました」

（——線部ア）とありますが、このような大人に対しての「わたし」の思いとして**適当でない**ものはどれですか。次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 子どもの世界に大人が入っていくことへの悲しさ。
- 2 大人がカブトムシ捕りをする事への違和感。
- 3 カブトムシを捕る大人という存在そんざいへの珍しさ。
- 4 子どもから名人と呼ばれることへのあこがれ。

問四 「国家機密にも匹敵するトップシークレットでした」（——線部イ）とありますが、これは具体的に何を指していますか。十五字以内で答えなさい。

問五 「子どもだけの世界」（——線部ウ）とありますが、その説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 遊ぶことに夢中むちゆうでいられる無邪気むじやきな期間。
- 2 大人が立ち入らない子ども同士での関係性。
- 3 不安なことがなにもない甘やかされた空間。
- 4 大人だからこそ思い出される懐かしい記憶。

問六 「模型を作ったんじゃないですか？」（——線部エ）と

ありますが、このやりとりを通してうかがえる、妻と「わたし」の考えの異なる点についての説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 妻は教室の子どもたちがより深い学びができるようにリアルな模型を作ったと考えたが、「わたし」はひとりの女の子を喜ばせるためだけにかわいい模型を作った。
- 2 妻は虫嫌いの女の子でも怖がらずに授業を受けられるようなかわいらしい模型を作ったと考えたが、「わたし」は子どもたちのためになるようにリアルな模型を作った。
- 3 妻は子どもたちが実際に触れられるようなかわいらしい模型を作ったと考えたが、「わたし」は子どもたちが触れるだけで壊れてしまいそうなほどのリアルな模型を作った。
- 4 妻は子どもたちが理科の授業に楽しく取り組めるための模型を作ったと考えたが、「わたし」は授業で使った後に模型雑誌へ送れるようにリアルな模型を作った。

問七 「わたしは胸を張っていいました」（——線部オ）とありますが、それはなぜですか。その理由について、四〇字以内で説明しなさい。

問八 「結局、模型はやめて、ぬいぐるみを作りました」（——線部カ）とありますが、それはなぜですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 虫嫌いの女の子が怖がらずに昆虫のことを勉強する方法として模型作りを考えたが、妻と相談しているうちに、できる限り本物に近づけたほうがいいと考えたから。
- 2 理科の学習のために、昆虫の模型を作る必要があったので、子どもたちが喜ぶようにリアルな模型を作ろうとしたが、虫嫌いの女の子が激しく怖がったから。
- 3 子どもたちと協力して超巨大リアルカブトムシ模型を作るという「わたし」の計画に妻が反対したことで、盛り上がっていた気持ちに水を差されてしまったから。
- 4 「わたし」の作った超巨大リアルカブトムシ模型では、虫嫌いの女の子が昆虫を勉強できるようにするという当初の目的が達成できないことが分かったから。

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号			

名前	
----	--

2021年度 須磨学園夙川中学校 第3回入学試験解答用紙 国語

※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	一
問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一		
							I	c	a	
							II		b	

(※の欄には、何も記入してはいけません)

※	※	※	※	※	※	※	※	※	二
問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一		

(※の欄には、何も記入してはいけません)

